

こんにちは ひぐち英明です



日本共産党 京都市会議員
ひぐち英明
議会報告

第418号 2022年6月1日 連絡先: 日本共産党左京地区委員会 Tel761-6341
: 左京生活相談所 Tel781-6622

HP:

コロナ・全国比でも多い京都の死者数 保健所を減らしたことに反省なし



つどいで市政報告

5月議会の代表質問で、コロナの対策について、我が党議員が、京都が全国的にも死亡者数が多い自治体となっていることを指摘。その大きな要因として、保健所を市内1か所に減らしてしまっていたことがあり、各行政区に保健所を戻すよう求めました。

この質問に対して

市長が「高齢者施設でのクラスター発生などが要因で、保健所の集約化が死亡の要因ではない」との驚くべき答弁を行いました。第6波の際には、保健所がパンクしていたために、高齢者施設に感染者が出てその対応を施設に丸投げしていました。公的な役割を果たせなかったことに対する反省が全くありません。

国のコロナ対策が全く不十分なままであることがその元凶ですが、市長が国の施策を唯々諾々と受け入れるだけは市民の命は守れません。

小中学校の統合に伴う校舎新築工事議案 5月市会で異例の否決

5月市会で、西京区の3つの小中学校を一つに統合することに伴う、新たな学校の校舎の新築工事議案(解体工事)が否決されました。市長提案の議案が否決されるのは異例の事態です。

なぜ否決されたのか。仮契約を結んでいた工業者が脱税していたことが、議決の直前になって明らかになったためです。

共産党は、学校を統合し大規模化することそのものに反対ですが、事業を落札した事業者が2億円以上の所得をごまかしていた脱税業者だったというのですから、さすがに他の会派も賛成できませんでした。

WHO(世界保健機関)は学校の規模を100人以下が望ましいとしています。日本も早くこの世界基準に合わせるべきです。

共産党の躍進にご協力を



写真トピックス

左京消防団総合査閲→
右端がとがし市議



←上高野で開かれた「平和を考えるつどい」

ミサイルが飛んで来たらコンクリートの建物に避難? 憲法9条こそ市民の命を守る



「のぞみ」のつどい「憲法9条改憲NO!」

先日の総務消防委員会で自民党議員が「京都市にミサイルが飛んできた時の対応はどうか」と質問。理事者が「コンクリートの建物や地下鉄などを緊急一時避難施設に指定する」と答弁。質問した議員は「大いに進めてほしい」と応じていました。

自民議員は「ミサイルが飛んでくる可能性がある」と危

機を煽りたかったのでしょうか、ミサイルに対してコンクリートの建物では命は守れません。市民の命を守るには、そういう状況をつくらないための努力、戦争にならないための努力、つまり、憲法9条にもとづく平和外交を行うことこそ必要であることが浮き彫りになりました。

○ ひぐち英明 ホット・コム ミニ版 ○

我が家が、夫婦と超な(大学3年)の3人暮らしになって、3年目を迎えています。それぞれがそれぞれの時間を過ごしているため、3人一緒にご飯を食べる機会が少なくなっています。

それでも妻は、自分で晩御飯をつくる時には、家族の分もつくっていました。ところが最近は、長男は適当に外食してくることも多く、そんな時は、せっかくなつたごはんが無駄になってしまっています。

ある夜のこと。私と妻の2人で御飯を食べたあと、「子どもに何も残っていないなあ」とつぶやくと「(お昼の残りの)カレーパンがある」と妻。カレーパンすらなくなる日も近そうです。まあなければいけない、長男は適当に自分でつくりますが・・・